

令和4年度
国民健康保険近畿地方協議会
総務関係職員研修会

講演資料

令和4年9月22日（木）
和歌山県データ活用推進センター

注意事項

- 本講義の内容は演者の個人的見解を基に述べており、所属組織とは関係ありません。
- 録音・録画等を禁止とします。
- 本動画は令和4年9月22日の本講演用に作成したものであり、複製等による使い回しは許可しておりません(配布資料を含む)。
- 質問はまとめてメール等でいただきましたら回答します。
※ 9月末まで

Agenda

- 業務量調査をするには (30分程度)
- 入力ルールの一統について (30分程度)



和歌山マスコットキャラクター きいちゃん

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/wakayamaprcharacter/kiichan_shiyou/kiichan_shiyou.html

業務量調査について 要旨

- 決定的な調査方法まだ確立されていない。
- 調査をするには明確な「目的」が必要。
- 管理（調査）するには客観的に測定する指標が必要。

簡単に言うと

- ・ **なんのため？**

- 経費削減？
業務量軽減？
生産性（作業効率）の向上？
業務量の均一化？

- ・ **誰のため？**

- 従業員？
組織？

「業務改善のため」といったざっくりとした目標では、
結果もざっくりとしたものしかでてこない

考えるべきこと

1 調査目的

2 調査方法

その後、

3 調査の結果

→ 単純に結果のみ

4 考察

→ 結果の考察
改善案の提案

整理すべきこと

【目的】

なにをしたいのか？

- 現状把握（分かっていることと分かっていないことの整理）。
「調査」することによって知りたいこと。
「分かったこと」をもとに改善（介入）したいこと。
 - 例）業務量の軽減、業務量の均一化等

【方法】

どのように実施するか？

- やりかたはいろいろあるが、目的によって変わる。

目的の因数分解（細分化）

【現状把握】

現状の背景

- 社会の現状
会社の現状

問題点

- 現状のままでは不都合な点の整理（改善したいこと）
 - ※ 全部列挙する必要はなく、「調査」によって改善したい点を挙げる
- だから調査する必要がある

調査に対して、明確で細分化した目標設定が重要

正式に「調査」する場合は、これらを決めておくと結論がぶれない

やるべき順番（案）

- ① やりたいこと（最終目標）を挙げる
→ まずは肌感覚でOK
- ② 現状把握
→ 背景を整理する
- ③ 調査することにより、やりたいことができるか考える
→ 実現可能性の検討

調査方法

【目的により異なる】

- アンケート調査
 - 誰に対して？どのようなアンケート？集計方法は？
- 業務（量）の可視化
 - 似たような業務形態の会社の模倣。
外部コンサルタントへの委託。
 - 非常に手間とコストがかかる。
- モニタリング
 - 外部コンサルタントが入ることが多い

「目的」が定まっていないと、なんにもいえない（費用等の話はその後）

蛇足ながら

【方法】

- ・いつまでに
- ・どの程度の期間で
- ・誰に対して

これらは「方法」の部分で検討

【考察】

- ・調査にかける費用や労力
- ・その費用対効果
- ・改善案
- ・改善案の実現可能性
- ・この調査の妥当性

これらは「考察」の部分で検討

→ 調査前にざっくりとした見積り、仮設は立てておく

そもそも誰のための業務量調査？

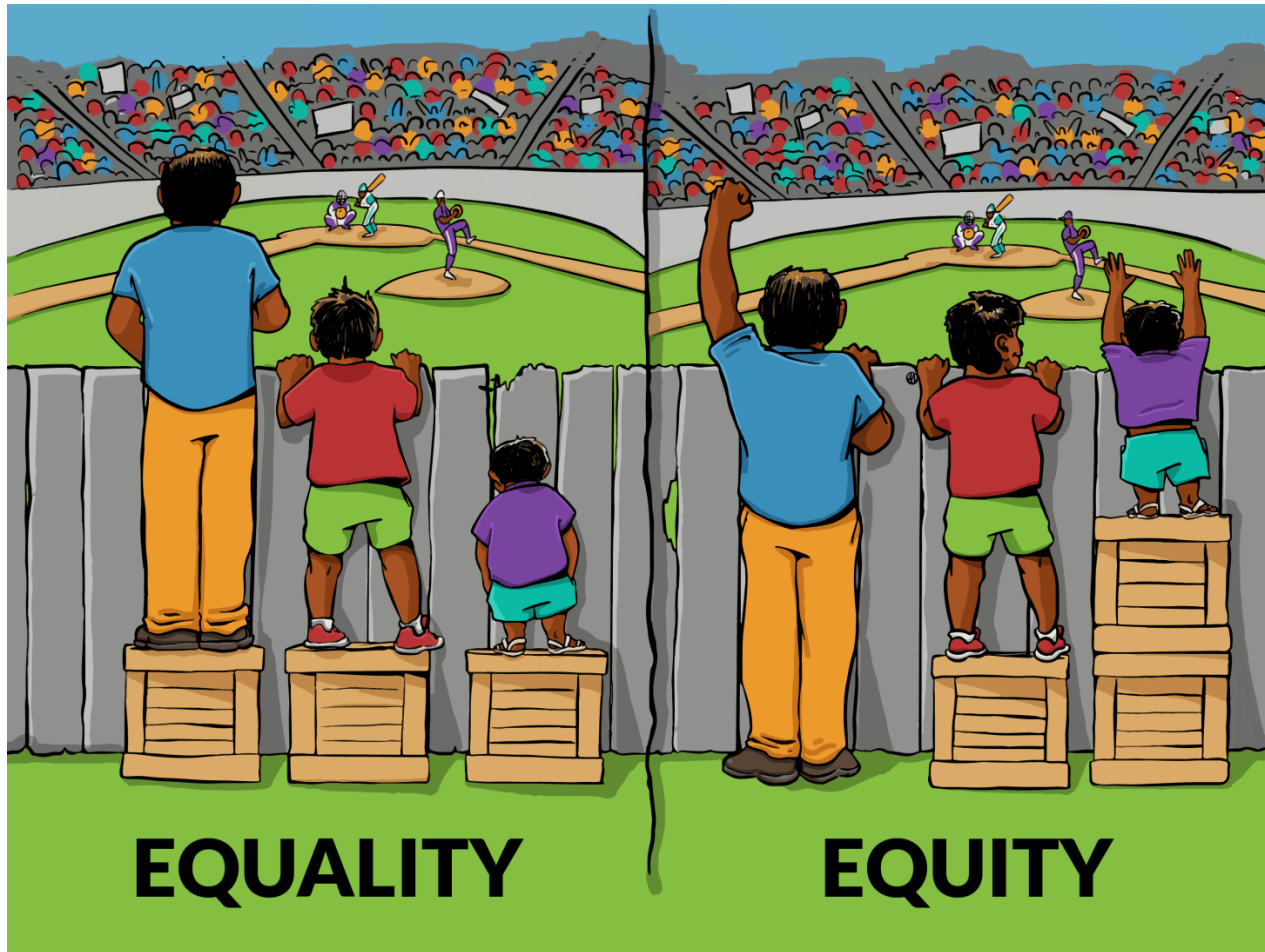
職員

- 「残業代がもらえるなら、残業してもいい」
- 「残業代をきっちりもらったとしても残業したくない」
- この2つの考え方は混在する。

組織

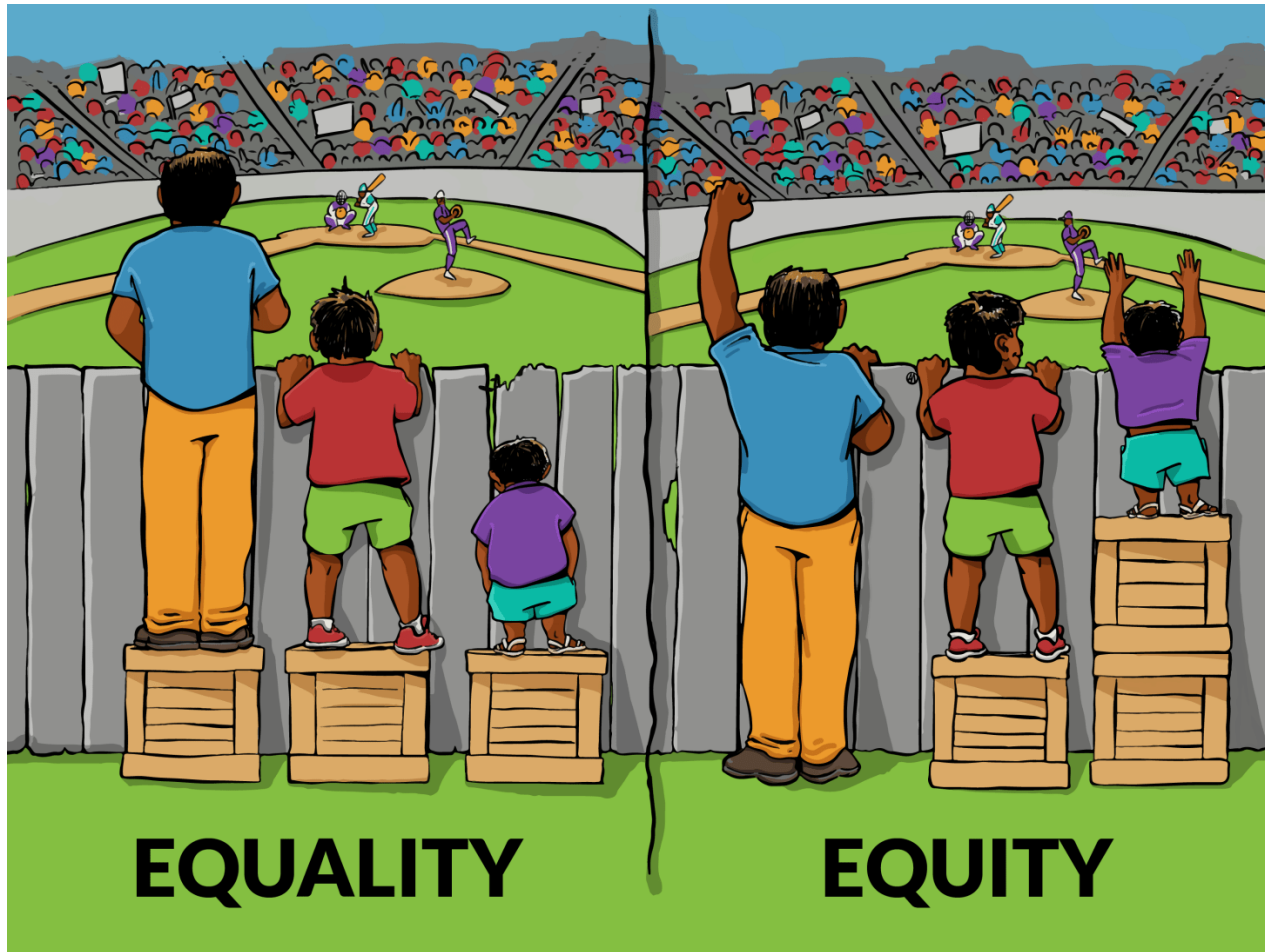
- 社会的規範のため？
- 離職率低下のため？

福祉分野：平等(Equality)と公平(Equity)



- 資源（木箱）を与える
→ 業務負担とは
ちよつと違つた考え方。

平等(Equality)と公平(Equity)



- 同じ分配
→ 3人に10万円を配布
- 個人の特徴に合わせた分配
→ 30万円を分配

※ 総予算は同じ30万円

財源（資源）には限りがある



- 与えられた予算内でやりくり（分配）するか？



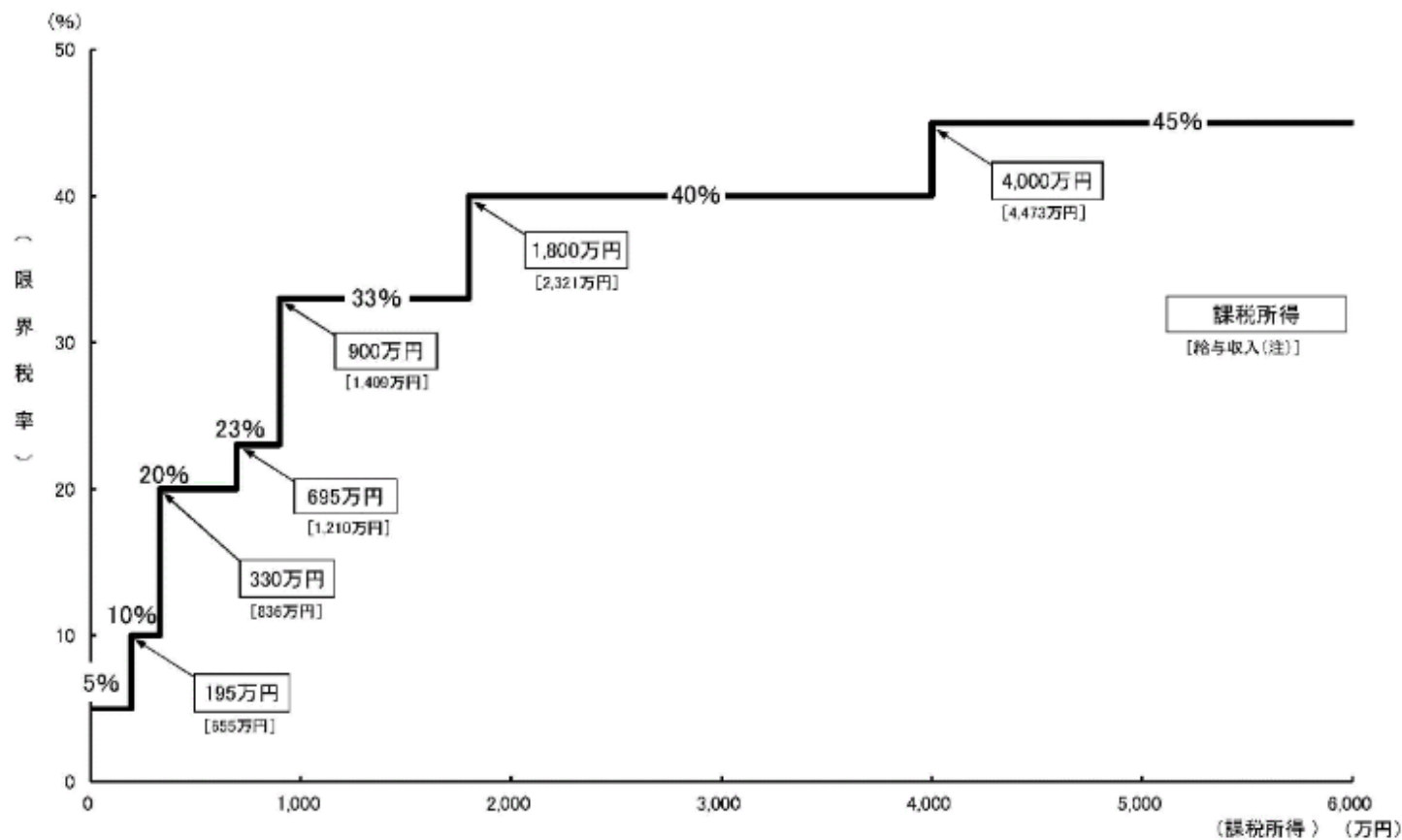
- 予算を増やすように働きかけるか？

業務量：平等(Equality)と公平(Equity)

- 全員が同じ業務量
→ 平等
- 職員の適正に合わせた業務量
→ 公平

平等(Equality)と公平(Equity)

所得税の税率構造



- 消費税
→ 全員が同じ税率 10%
→ 平等
- 所得税
→ 所得により税率が異なる
→ 公平

問題点はどちらか？

- 業務量（の負担）が不均衡か？
 - 不公平感を感じさせないことが大事。
調査も実施も難しい。
- 全体の業務量が多すぎるのか？
 - 財源に限りがあるのと類似の考え方。

どちらに焦点を当てたいのかを決める必要がある
（目的の明確化）

平等(Equality)と公平(Equity)



個々に合わせた業務依頼（指導）

目的の明確化

- なんのための業務量調査？

- 誰のため？

- 調査することによる目標（ゴール）は？

業務の均一化？

- 平等か公平か。

業務負担を減らしたい？

- 人を増やすか業務を減らすか作業効率を上げるか。

測定できないものは管理できない

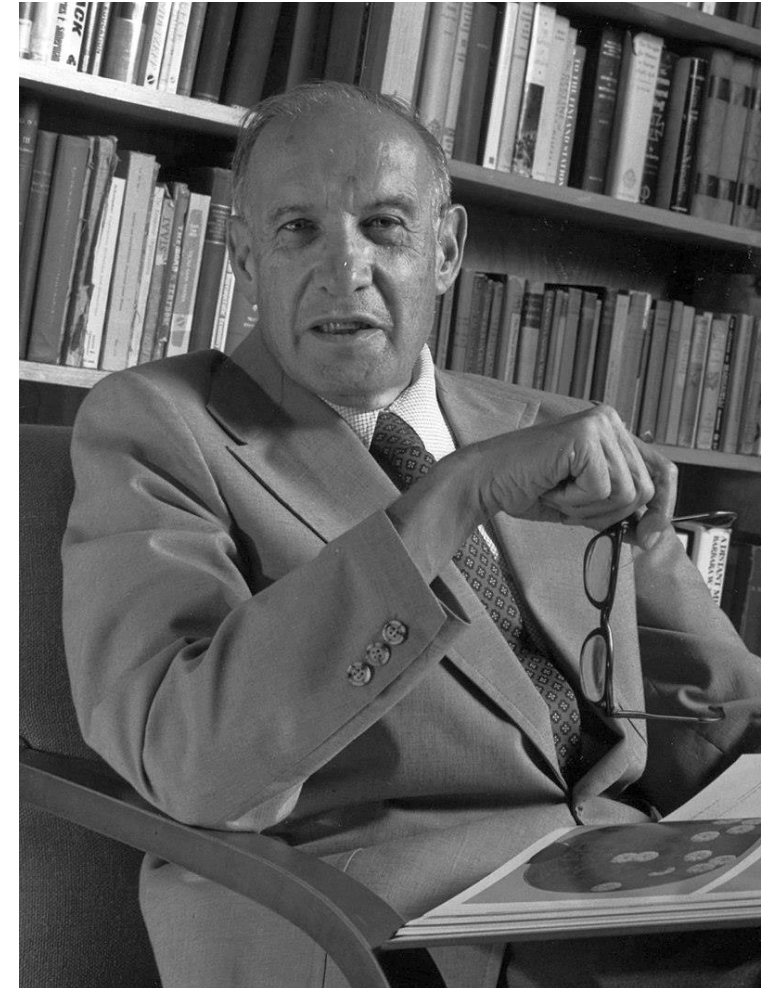
Peter Ferdinand Drucker(1909-2005)

社会的な責任を引き受け、問題の解決に乗り出す前に、マネジメントたる者は、問題のどの部分を自らの強みに合ったものにするかができるかを検討しなければならない。測定可能な目標で表せる分野があるかを考えなければならない。

もしそのような分野があるならば、自らの社会的責任として、さらに検討してよい。しかし、そのような分野がないならば、問題がいかに重要であって緊急を要するとしても責任を負うことは抵抗しなければならない。

そのようなものを引き受けても、社会に害をなし、自らに害をなすだけである。成果をあげることはできず、したがって責任をもつもとはできない。

引用元：個人ブログ（マネジメントP401からの孫引き）
<https://jumperson.hatenablog.com/entry/2013/09/07/101219>
下線は講師作成



写真引用元：Wikipedia

測定 ≡ 評価

背の高さに対する評価

背が高い	×
身長170cm	○

「背が高い」の定義は人によって異なる。
170cmを「高い」と表現する人もいれば、180cmを「高い」と表現する人もいる。
(170cmを「低い」と表現する場合もある)

その人の主観や立場によって「高い・低い」というのは共通言語になり得ない。

測定 ≡ 評価

病院に対する評価（自分の病院）

うちは良い病院だ	×
患者満足度調査で高い評価だ	△
患者満足度調査で平均4だ	○

② 「主観的な評価」を客観的評価にする方法もある（数値化）

例) アンケート調査

1. 非常に悪い 2. 悪い 3. 普通 4. 良い 5 非常に良い

※ 1、5は逆でも良いが、よく考えて設定する

※ 得られる結果は数値だが、回答者の「主観」が多く入る

測定 ≡ 評価

病院に対する評価（複数の病院）

ここは良い病院だ	×
病院ランキングで1位だ	○

- ① 「良い病院」の定義は人によって異なる。
定まった測定方法がない場合、自分で基準を作る。
例：「待ち時間が短いのが良い病院」と定義し、
「（他の病院と比べて）待ち時間が短いから良い病院だ」

ただし、この勝手に定義した基準が合理的なものか否かは検討する必要がある。

病院の評価をするには？（専門的な話）

医療（病院）の質の評価

病院の評価をするには？（専門的な話）

質 ≠ 量

ドナベディアンモデル

構造	過程	結果
医療従事者数	診断の妥当性	患者満足度
医療従事者の配置	治療の妥当性	QOLの向上
専門医の数	技術レベル	死亡者数
医療設備	接遇	入院日数
など	など	など

病院の評価をするには？（専門的な話）

【構造】

医師数

看護師の配置数

→ 診療報酬の配置基準に適用

病床数

医療機器の設置

→ 患者受け入れ許容量に関係

病院の評価をするには？（専門的な話）

【過程】

診断・治療の妥当性

→ ガイドラインを遵守しているか？

→ 評価が難しい

治療技術のレベル

→ 評価が難しい

病院の評価をするには？（専門的な話）

【結果】

入院日数、手術件数、死亡退院数

→ 患者調査、病院報告等で報告義務

※ 数値として公開されている場合が多いが、
これだけで病院の評価をするのは誤り

数値化できないものを評価するには？

- 「数値でないもの」を合理的な考えに基づいて数値化する。
 - 先人たちの積み上げや研究発表によって、業界でのコンセンサスを得る。
- 医療技術は日進月歩で進化（変化）していることもあり、決定的な評価方法は確立されていない。

測定 ≡ 評価

業務量に対する評価

いつも仕事している	×
毎日残業している	△
昼休みも働いている	△

「いつも仕事している」はいつのことなのか？
業務時間中なのか、始業前なのか終業後なのか。

どれくらい（時間）の仕事？
どれくらい（業務量）の仕事？
その人にしかできない専門的な仕事？ → 質的評価

- 何を測定したいのか？
- 「目的」がなくては評価は無理

業務量調査 まとめ

- **決定的な調査方法はまだ確立されていない。**
- **調査する目的を明確にしなくては、結果も明確なものとはでてこない。**
 - なにをしたいのか？なにを調査（測定）したいのか？
- **「業務量」を「測定」する必要がある。**
 - 測定の尺度は共通言語を用いる。
 - 測定方法は独自のもので構わないが、検証と再現性が必要。

Excel入力時の統一ルール

- 2020年12月に総務省が公開しています。

すべて

画像

動画

地図


ニュース

ショッピング

348,000,000 件の検索結果

時間指定なし ▾

総務省が示した「データ入力の統一ルール」【機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール】が策定されました。2020年11月に河野太郎 行政改革担当大臣のツイートが話題となりました。その後正式に統一ルールが公開された形です。各省庁がネット上で公開する統計を機械判読可能にするために、データの表記方法を統一させます。

全国民に配るべき！総務省が示した「データ入力の統一ルール」 ...
 excel-design-dr.com/date-entry-rule/

これは役に立ちましたか?  

総務省 | 報道資料 | 統計表における機械判読可能なデータの ...

<https://www.soumu.go.jp> > [menu_news](#) > [s-news](#) > [01toukatsu01...](#) ▾

2020/12/18・総務省では、各府省が政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載する統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルールを策定いたしましたので、お知らせいたします。 ...

さらに詳しく探す

統計表における機械判読可能なデータの表記方法の ...

gov-base.info

統計表における機械判読可能なデータ 作成に関する ...

stat.go.jp

統計表における機械判読可能なデータ 作成に関する ...

soumu.go.jp

[統計局ホームページ/統計表一覧（Excel集）](#)

stat.go.jp

[総務省トップ](#) > [広報・報道](#) > [報道資料一覧](#) > [統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルールの策定](#)

報道資料

令和2年12月18日

統計局

政策統括官(統計基準担当)

統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルールの策定

総務省では、各府省が政府統計の総合窓口(e-Stat)に掲載する統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルールを策定いたしましたので、お知らせいたします。

1 目的

利用者の利便性向上を図るため、各府省がe-Statに登録する機械判読可能な統計表を作成する上で留意すべき事項

別紙

統計表における機械判読可能なデータ 作成に関する表記方法

例 1

修正前	修正後																											
<p>1セルに複数のデータが入力されている</p> <table border="1" data-bbox="377 444 1103 986"> <thead> <tr> <th></th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕入額</td> <td>373（平成27年度）、434（平成28年度）、549（平成29年度）、638（平成30年度）、741（平成31年度）</td> </tr> <tr> <td>出荷額</td> <td>973（平成27年度）、1234（平成28年度）、1449（平成29年度）、1738（平成30年度）、1841（平成31年度）</td> </tr> </tbody> </table>		全国	仕入額	373（平成27年度）、434（平成28年度）、549（平成29年度）、638（平成30年度）、741（平成31年度）	出荷額	973（平成27年度）、1234（平成28年度）、1449（平成29年度）、1738（平成30年度）、1841（平成31年度）	<p>1セル1データとして入力した状態</p> <table border="1" data-bbox="1340 461 1982 953"> <thead> <tr> <th></th> <th>全国</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <th></th> <th>仕入額</th> <th>出荷額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>373</td> <td>973</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>434</td> <td>1234</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>549</td> <td>1449</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>638</td> <td>1738</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>741</td> <td>1841</td> </tr> </tbody> </table>		全国	全国		仕入額	出荷額	平成27年度	373	973	平成28年度	434	1234	平成29年度	549	1449	平成30年度	638	1738	平成31年度	741	1841
	全国																											
仕入額	373（平成27年度）、434（平成28年度）、549（平成29年度）、638（平成30年度）、741（平成31年度）																											
出荷額	973（平成27年度）、1234（平成28年度）、1449（平成29年度）、1738（平成30年度）、1841（平成31年度）																											
	全国	全国																										
	仕入額	出荷額																										
平成27年度	373	973																										
平成28年度	434	1234																										
平成29年度	549	1449																										
平成30年度	638	1738																										
平成31年度	741	1841																										

仕入れ額と出荷額のセルに複数のデータが入力されている。このような場合は、年度ごとに列・行を分け、各セルにデータを分離して入力する。

例2

修正前				修正後			
1セルに複数のデータが入力されている				1セル1データとして入力した状態			
	企業等数	売上金額（費用総額）			企業等数	売上金額	費用総額
総計	1188389	391445	(355943)	総計	1188389	391445	355943
A	50384	69565	(63883)	A	50384	69565	63883
B	154138	50468	(45332)	B	154138	50468	45332
C	86522	44098	(33210)	C	86522	44098	33210
D	85983	22258	(20237)	D	85983	22258	20237
E	580003	37652	(35016)	E	580003	37652	35016
F	27456	15288	(14633)	F	27456	15288	14633
G	119085	115499	(110735)	G	119085	115499	110735
H	84818	36617	(32897)	H	84818	36617	32897

売上金額と費用総額が1セルに入力されているため、例えば、売上金額に占める費用総額の割合を計算したい場合、修正前の場合、「()」内の数字を分離してから、割り算を行う必要が生じる。

一方、修正後の場合では、費用総額列の値を売上金額列の値で割るだけでよく、単純な処理で計算が可能となる。

そのため、1セル1データの入力すること。

例1 数値データ内に文字列が含まれる場合

修正前		修正後																													
「円」、「▲ (マイナス表記)」、「, (カンマ)」が文字列として入力されている		数値データを数値属性として入力した状態																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単価</th> <th>前回差分</th> <th>生産台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サンプル1</td> <td>10,030円</td> <td>130</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>サンプル2</td> <td>9,100円</td> <td>▲200</td> <td>29,000</td> </tr> <tr> <td>サンプル3</td> <td>8,020円</td> <td>▲350</td> <td>37,000</td> </tr> <tr> <td>サンプル4</td> <td>7,500円</td> <td>500</td> <td>43,000</td> </tr> <tr> <td>SUM関数</td> <td>0</td> <td>630</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>+(加算演算)</td> <td>#VALUE!</td> <td>#VALUE!</td> <td>121000</td> </tr> </tbody> </table> <p>↑黄色の行は関数で合計を表示した例</p>		単価	前回差分	生産台数	サンプル1	10,030円	130	12,000	サンプル2	9,100円	▲200	29,000	サンプル3	8,020円	▲350	37,000	サンプル4	7,500円	500	43,000	SUM関数	0	630	0	+(加算演算)	#VALUE!	#VALUE!	121000		
	単価	前回差分	生産台数																												
サンプル1	10,030円	130	12,000																												
サンプル2	9,100円	▲200	29,000																												
サンプル3	8,020円	▲350	37,000																												
サンプル4	7,500円	500	43,000																												
SUM関数	0	630	0																												
+(加算演算)	#VALUE!	#VALUE!	121000																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単価</th> <th>前回差分</th> <th>生産台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サンプル1</td> <td>10030</td> <td>130</td> <td>12000</td> </tr> <tr> <td>サンプル2</td> <td>9100</td> <td>-200</td> <td>29000</td> </tr> <tr> <td>サンプル3</td> <td>8020</td> <td>-350</td> <td>37000</td> </tr> <tr> <td>サンプル4</td> <td>7500</td> <td>500</td> <td>43000</td> </tr> <tr> <td>SUM関数</td> <td>34650</td> <td>80</td> <td>121000</td> </tr> <tr> <td>+(加算演算)</td> <td>34650</td> <td>80</td> <td>121000</td> </tr> </tbody> </table> <p>↑黄色の行は関数で合計を表示した例</p>		単価	前回差分	生産台数	サンプル1	10030	130	12000	サンプル2	9100	-200	29000	サンプル3	8020	-350	37000	サンプル4	7500	500	43000	SUM関数	34650	80	121000	+(加算演算)	34650	80	121000	
	単価	前回差分	生産台数																												
サンプル1	10030	130	12000																												
サンプル2	9100	-200	29000																												
サンプル3	8020	-350	37000																												
サンプル4	7500	500	43000																												
SUM関数	34650	80	121000																												
+(加算演算)	34650	80	121000																												

「円」、「▲ (マイナス表記)」、「, (カンマ)」が文字列として入力されているため、関数計算を行うとエラーとなる。

数値データは数値属性として入力することで、関数計算が可能となる。

例 1

修正前		修正後		
セルが結合（又は分離）されている		セルの結合を解除した状態		
	管理職	従業員数（上段は正社員、下段はパート）		
第一営業所	3	15		
		2		
市区町村	生産本数	市区町村	ふりがな	生産本数
ちよたく	58406	千代田区	ちよたく	58406
千代田区		中央区	ちゅうおうく	141183
ちゅうおうく	141183	中央区		
中央区		みなとく		
みなとく		港区	みなとく	243283
港区	243283			

セルが結合（又は分離）されており、機械判読に適していない。

そのため、1件のデータは、横1行で表記し、セルの結合又は unnecessary 分離を行わないこと。

例 2

修正前					修正後				
セルが結合されている					セルの結合を解除した状態				
都道府県	エリア	市区町村	導入台数	増減数	都道府県	エリア	市区町村	導入台数	増減数
	特別区部	千代田区	58406	11291	東京都	特別区部	千代田区	58406	11291
	特別区部	中央区	141183	18421	東京都	特別区部	中央区	141183	18421
	特別区部	港区	243283	38152	東京都	特別区部	港区	243283	38152
§					§				
東京都	特別区部	葛飾区	442913	327	東京都	特別区部	葛飾区	442913	327
	特別区部	江戸川区	681298	2331	東京都	特別区部	江戸川区	681298	2331
	市町村	八王子市	577513	-2540	東京都	市町村	八王子市	577513	-2540
	市町村	立川市	176295	-3373	東京都	市町村	立川市	176295	-3373
	市町村	武蔵野市	144730	5996	東京都	市町村	武蔵野市	144730	5996
	市町村	三鷹市	186936	853	東京都	市町村	三鷹市	186936	853
	市町村	青梅市	137381	-1958	東京都	市町村	青梅市	137381	-1958
	市町村	府中市	260274	4768	東京都	市町村	府中市	260274	4768
§					§				
	市町村	青ヶ島村	-		東京都	市町村	青ヶ島村	-	-
	市町村	小笠原村	-		東京都	市町村	小笠原村	-	-

例 2

修正前				修正後			
スペースで体裁を整えている				スペースを解除した状態			
分類	総数	事業所数	企業数	分類	総数	事業所数	企業数
合計	900	450	450	合計	900	450	450
A	200	100	100	A	200	100	100
B	300	150	150	B	300	150	150
C	400	200	200	C	400	200	200

例

修正前	修正後																														
<p data-bbox="206 534 901 582">同じ名称を空白で省略している</p> <table border="1" data-bbox="211 619 968 1001"><thead><tr><th>薬剤名</th><th>出荷本数</th><th>在庫本数</th></tr></thead><tbody><tr><td>鎮静剤 A - 1</td><td>429</td><td>756</td></tr><tr><td>2</td><td>321</td><td>648</td></tr><tr><td>3</td><td>384</td><td>438</td></tr><tr><td>4</td><td>408</td><td>775</td></tr></tbody></table>	薬剤名	出荷本数	在庫本数	鎮静剤 A - 1	429	756	2	321	648	3	384	438	4	408	775	<p data-bbox="1345 534 1895 582">省略せずに入力した状態</p> <table border="1" data-bbox="1309 619 2097 1001"><thead><tr><th>薬剤名</th><th>出荷本数</th><th>在庫本数</th></tr></thead><tbody><tr><td>鎮静剤 A - 1</td><td>429</td><td>756</td></tr><tr><td>鎮静剤 A - 2</td><td>321</td><td>648</td></tr><tr><td>鎮静剤 A - 3</td><td>384</td><td>438</td></tr><tr><td>鎮静剤 A - 4</td><td>408</td><td>775</td></tr></tbody></table>	薬剤名	出荷本数	在庫本数	鎮静剤 A - 1	429	756	鎮静剤 A - 2	321	648	鎮静剤 A - 3	384	438	鎮静剤 A - 4	408	775
薬剤名	出荷本数	在庫本数																													
鎮静剤 A - 1	429	756																													
2	321	648																													
3	384	438																													
4	408	775																													
薬剤名	出荷本数	在庫本数																													
鎮静剤 A - 1	429	756																													
鎮静剤 A - 2	321	648																													
鎮静剤 A - 3	384	438																													
鎮静剤 A - 4	408	775																													

すべて

画像

動画

地図


ニュース


ショッピング

348,000,000 件の検索結果

時間指定なし ▾

総務省が示した「データ入力の統一ルール」【機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール】が策定されました。2020年11月に河野太郎 行政改革担当大臣のツイートが話題となりました。その後正式に統一ルールが公開された形です。各省庁がネット上で公開する統計を機械判読可能にするために、データの表記方法を統一させます。

全国民に配るべき！総務省が示した「データ入力の統一ルール」 ...
 excel-design-dr.com/date-entry-rule/

これは役に立ちましたか?  

総務省 | 報道資料 | 統計表における機械判読可能なデータの ...

<https://www.soumu.go.jp> > [menu_news](#) > [s-news](#) > [01toukatsu01...](#) ▾

2020/12/18・総務省では、各府省が政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載する統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルールを策定いたしましたので、お知らせいたします。 ...

さらに詳しく探す

統計表における機械判読可能なデータの表記方法の ...

gov-base.info

統計表における機械判読可能なデータ 作成に関する ...

stat.go.jp

統計表における機械判読可能なデータ 作成に関する ...

soumu.go.jp

[統計局ホームページ/統計表一覧（Excel集）](#)

stat.go.jp

入カルールの統一について

「共通言語」を使用する

共通言語

自分が読みやすい言語 \neq 人が読みやすい言語

自分が分かりやすい表現 \neq 人が分かりやすい表現

共通言語 ≡ コンピュータが読める言語

人間が読める言語 ≠ コンピュータが読める言語

コンピュータにとっては、「読める or 読めない」のみ

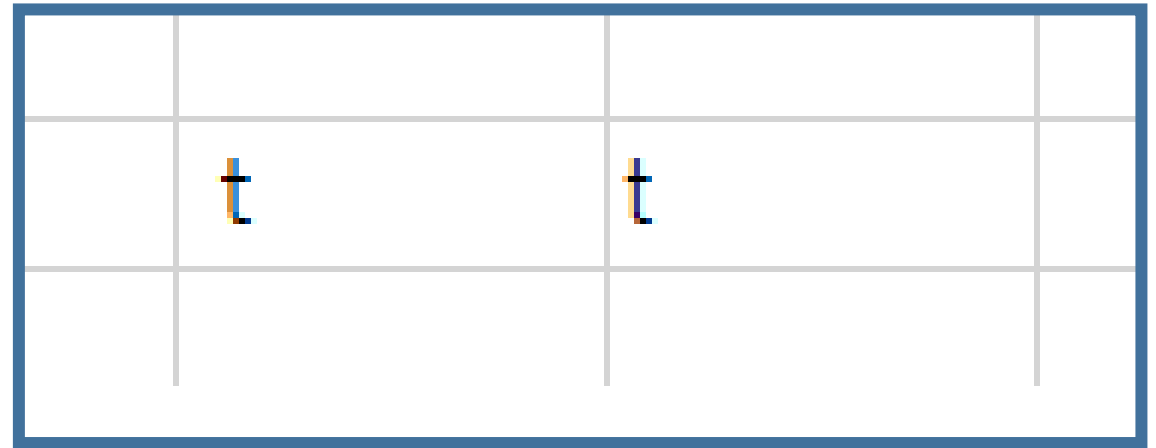
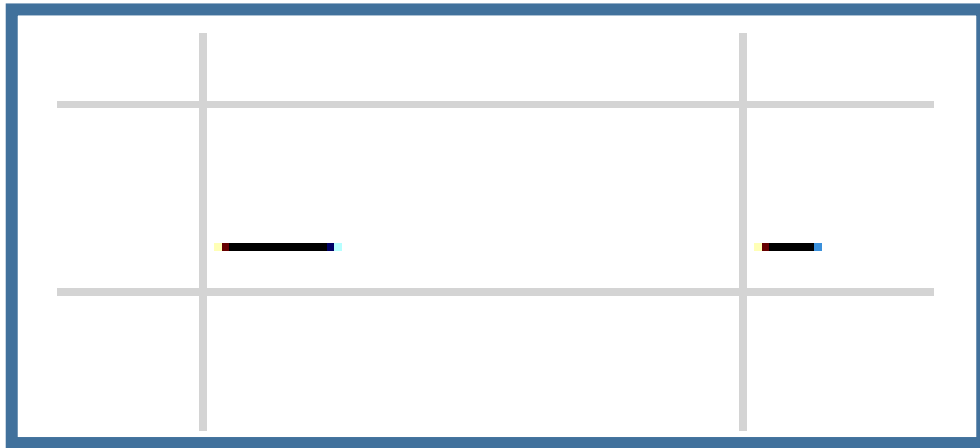
見た目は似ていてもPCは違うものとして認識する

半角全角	1234	1 2 3 4	

スペースが入っている	竈門炭治郎	竈門 炭治郎	

余計なものが入っている	09012345678	090-1234-5678	

見た目は似ていてもPCは違うものとして認識する



見た目は同じでもPCは違うものとして認識する (ことがある)

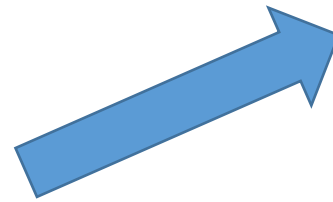
特に

文字認識 \neq 数値認識

コンピュータが「読めている」が、人が意図しない読み方

見た目は同じでも

H	I	J	K
	1234	1234	



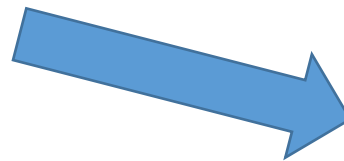
表示する 標準

中央揃え % , ←.0 →.00

数値

I	J
1234	1234

The top-right inset shows a close-up of the Excel ribbon with the '標準' (Standard) format selected. The ribbon shows '表示する' (Display as) set to '標準', '中央揃え' (Center), and percentage symbols. Below the ribbon, a small table shows columns I and J, with cell I1 containing '1234' and cell J1 containing '1234'. The cell I1 is highlighted with a green border.



表示する 文字列

中央揃え % , ←.0 →.00

数値

I	J
1234	1234

The bottom-right inset shows a close-up of the Excel ribbon with the '文字列' (Text) format selected. The ribbon shows '表示する' (Display as) set to '文字列', '中央揃え' (Center), and percentage symbols. Below the ribbon, a small table shows columns I and J, with cell I1 containing '1234' and cell J1 containing '1234'. The cell J1 is highlighted with a green border.

見た目は違っていても

-12345	(12345)	12345	△ 12345
<hr/>			
12345	12345	12345	12,345
<hr/>			

Excelでの入力時に決めておくこと

プリントアウトして人が使うのか

or

データとして使用するのか

Excel使用上のルール（提案）

半角入力を原則とする

（全角は日本語入力の際のみ）

データの種類について

教科書的には

- 質的変数
 - 名義尺度
 - 順序尺度
- 量的変数
 - 間隔尺度
 - 比例尺度

4つの尺度

- 名義尺度

- 名前、電話番号、郵便番号、住所 他

- ※ (数値だったとしても) その数値自体に意味はない。

- 順序尺度

- 順位

- ※ 1位と2位、2位と3位の間隔に意味はない。

- 間隔尺度

- 満足度等のアンケート

- 例) 1. 非常に良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5 非常に悪い

- 西暦

- ※ 差に意味はあるが、比率に意味はない

- 比例尺度

- 身長、金額

- ※ Excelで計算しやすい

尺度はややこしいので

まずは、

数値 or 文字

で分類しましょう

その次に

数値にどのような意味があるかを考えましょう。

- 例)
- ・ 順位 (Excelのソート) に意味があるか？
 - ・ 順位の間隔にはどのような意味があるか？

そもそも

- ・ 住所を番地まで入れる意味はあるか？
 - ・ 電話番号を入れる意味はあるのか？
- データ作成目的の明確化。

最後に

- データ入力方法を統一（変更）するには非常に労力がかかります。
- その注いだ労力は、必ず結果となって還ってきます。
- 最後まで改革するには時間がかかるので、
まずは本日の内容から始めていきましょう。

Take home message

- ① 目的の明確化
- ② 測定できないものは管理できない
- ③ Excelの使用はルールを統一する
- ④ Excelは半角入力を原則とする
- ⑤ Excelに入力した数値の意味を考える

ご清聴ありがとうございました

 和歌山県データ利活用推進センター

研究者の方へ 事業者の方へ 教育機関の方へ

センターについて

分析・研究/オープンデータ

人材育成

連携・支援



検索

和歌山県データ利活用推進センター

日本全国の地方創生に貢献します

